

授業科目 メディア論

【担当教員名】 後藤 康志	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			

【概要・一般目標：GI0】

新潟ローカル放送では「アルビレックス勝利」と報じられる試合結果が、なぜ全国放送になると「浦和破れる」になるのか。イラク戦争において、カタールのアルジャジーラが欧米の報道機関は決して報じなかった傷ついた米兵の姿を報じたのはなぜか。新聞、テレビ、インターネットなど、身の回りの様々なメディアは、送り手によって構成された表現である。テレビは「ドラえもののどこでもドア」ではなく、ディレクターによって切り取られた「窓」でしかない。メディアから送られる情報は、その情報を見せることで、他の情報を見えないようにする機能をもっている。テレビ、新聞、ネットワーク、雑誌、書籍など身近なメディアを自分がどのように捉えているかを振り返りながら、メディアとのつきあい方について検討する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. メディアは、送り手の意図によって構成されている事を知る。
2. 文字メディア、映像メディア、デジタルメディアによる表現の特性と送り手の意図を知る。
3. 誰もが送り手になれる時代のメディアとのつきあい方を知る。
3. 自分自身がメディアをどのように認知し、利用しているかを知り、よりよいメディアとのつきあい方を考える。
4. クリティカルシンキングについて検討する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	メディアとのつきあいを考える：はじめはクリティカルシンキング	1, 4	講義
2	文字メディアとのつきあいを考える（1）：新潟地方紙は「アルビ勝利」、全国紙は「浦和破れる」	2	講義・演習
3	文字メディアとのつきあいを考える（2）：ドイツW杯オーストラリア戦前日の新聞を作る！	2, 3	講義・演習
4	文字メディアとのつきあいを考える（3）：紙の新聞・ネットの新聞	2	講義・演習
5	映像メディアとのつきあいを考える（1）：ケネディ VS ニクソン テレビと大統領選	2	講義・演習
6	映像メディアとのつきあいを考える（2）：映像技法でんご盛りのCMを分析！	2	講義・演習
7	映像メディアとのつきあいを考える（3）：坂の上の雲は私たちを明治時代にタイムスリップさせるのか～CG技術	2	講義・演習
8	デジタルメディアとのつきあいを考える（1）：新潟医療福祉大学のWiki ページを最初に書いた人は誰？	2, 3	講義・演習
9	デジタルメディアとのつきあいを考える（2）：Googleの検索順位を上位にするには？	2	講義・演習
10	デジタルメディアとのつきあいを考える（3）：初音ミクとニコニコ動画	2, 3	講義・演習
11	自分はメディアをどのように理解しているのか（メディア認知の可視化）	4	講義・演習
12	自分はメディアを使いこなしているだろうか（可視化されたメディア認知と、実際のメディア行動のギャップ）	4	講義・演習
13	新聞は消滅するのか？日本人のメディアとのつきあい方：NHK放送文化研究所の調査データから	4	講義・演習
14	メディアとのつきあいを考える：戻るところはクリティカルシンキング	1, 4	講義・演習
15		1, 4	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

課題及びレポートにより評価します。

【履修上の留意点】

講義と演習形式で授業を進めます。原則、PCおよびLANケーブルを持参してください。課題の提出は原則、ネットワークを介して行います。